

都立光丘 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

芸術 科目 書道Ⅱ

教科: 芸術

科目: 書道Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 6 組

教科担当者: (1-6組: 赤嶺二三代) (組: ) (組: ) (組: ) (組: )

使用教科書: (書道Ⅱ(光村図書) ペン習字の基礎(教育図書) )

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】書道3分野と臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。漢字・仮名の古典を学習する。

【思考力、判断力、表現力等】古典に基づく基本的な用筆・運筆、字形、構成などを生かした表現を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書を愛好する心情を養う。

科目 書道Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①各書体における基本用筆を習得している。 ②古典の書体や書風と用筆運筆について理解 ③漢字かな交じりの調和体で創作できる技能を身に着ける	古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、	古典の価値とその根拠について考え、書のよさや

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	日本独自の書の世界「仮名」の成立に至る過程をあらためて理解させる。	・自分の書道用具の確認 ・一年間の授業の流れを、教科書に従って大まかに理解する ・基本的な筆使いを繰り返し、仮名に特有の用筆を習得する。	○				行動観察				2
	平仮名・変体仮名・片仮名の理解を深める	・平仮名と変体仮名の字形の違いを書き込みながらできる限りで体得する ・「蓬莱切」を鑑賞・理解し、字形筆使いを意識しながら臨書する。				○ ○	行動観察				4
	仮名の連綿の技術を習得する	・連綿の技術の基本を理解する ・「高野切第三種」から大江千里の和歌を鑑賞し、字形と連綿の手法を意識しながら臨書する				○ ○	行動観察 作品制作				8
	百人一首の和歌を、古筆の味わいを活かして色紙に創作する	・「高野切第三種」「升色紙」「寸松庵色紙」を鑑賞学習し、紙面構成や筆使い表現の効果などについて考える ・百人一首のうちの一句を構成を決めて料紙色紙に行書きまたは散らし書きする				○ ○	行動観察 作品制作				10
2 学 期	漢字五書体のうち、「篆書」に関して鑑賞・学習する。中国の代表的な古典作品を教科書を用いて臨書し、篆書の臨書技術の向上を図る。	・「泰山刻石」「石鼓文」を題材に、用筆運筆や文字の大きさ、配置を工夫して臨書する。文字の歴史的役割を考え、絵画的趣もある造形を発見したり字形の面白さに気づき理解する。				○ ○	行動観察 作品制作				6
	漢字五書体のうち、「隸書」に関して学習する。中国の代表的な古典作品を教科書を用いて臨書し、隸書の臨書技術の向上を図る。	・隸書特有の筆法を理解したうえで、繰り返し学習し体得する。 ・「曹全碑」の歴史的価値や書風を理解したうえで、鑑賞し原寸で臨書する。				○ ○	行動観察 作品制作				6
	漢字五書体のうち、「草書」に関して学習する。日中両国の代表的な古典作品を教科書を用いて臨書し、草書の臨書技術の向上を図る。	・書聖王羲之の草書「十七帖」の歴史的価値や書風を理解したうえで、鑑賞し原寸で臨書する。 ・孫過庭「書譜」の整然とした草書、懷素「自叙帖」で狂草といわれる草書を鑑賞し、草書表現の味わいの深さを学習する。				○ ○	行動観察 作品制作				6
	漢字五書体のうち、「行書」に関して鑑賞・学習する。中国の代表的な古典作品を教科書を用いて臨書し、行書の臨書技術の向上を図る。	・書聖王羲之の行書「十七帖」太宗「温泉銘」の歴史的価値や書風を理解したうえで、鑑賞し原寸で臨書する。 ・顔真卿「祭姪文稿」を鑑賞し、作者の人生と残した作品に通じる雰囲気などを実感できるよう学習する。				○ ○	行動観察 作品制作				8

